

## 総 会 宣 言 (案)

全国水平社創立101年、あらたな歴史を刻み部落解放運動を創造するために、本日ここに市内11支部の兄弟姉妹が集い「2023年部落解放同盟京都市協議会定期総会」を開催し、差別の撤廃と人権が尊ばれる社会を目指し、福祉で人権のまちづくりに取り組むことを誓い合った。

コロナ禍は一定の終息をみせ、社会は日常を取り戻すように見えつつ、ロシアによるウクライナ侵攻は長期化の様相を呈し、世界の食料供給を危機に陥れ、石油をはじめとするエネルギーや資源の需給バランスも不安定となっている。

一方、中国を念頭におきながら東アジアの情勢も「台湾」をめぐる不穏な言論をふりまきつつ、日本政府は予算の裏付けもないまま、軍事費を膨張させ、憲法9条を骨抜きにしようとしている。北朝鮮の挑発行為により、世論もそうした情勢に迎合しつつある中、今こそ、かつて大日本帝国憲法のもと、どのような言論統制がおこなわれ、人権侵害がはびこっていたのかを想起し、二度と戦争へ突き進むことのないよう行動する必要がある。それは、表現の自由と人権を守る闘いでもある。

広島、長崎への原爆投下により終結した先の戦争以降、その惨劇ゆえに投下はされなかったものの、敵対する大国のけんせい行為により核兵器は増え続け、人類と地球そのものを常に脅かし続けている。私たちはあらためて、核兵器は人類の滅亡しか導くことはないと胸に刻み、核のない世界をつくらなければならない。

政治的にも、経済的にも混迷と混乱が続く不確かな時代を迎え、人権と平和、民主主義や環境の確立をめざす部落解放運動の役割はますます重要となっている。その自覚のもと、両手を広げ、多くの仲間たちと連帯し、「よき日」の実現に向けて部落解放運動を前進させよう。

以上、宣言する。

2023年6月2日

2023年部落解放同盟京都市協議会定期総会